

新冠町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

新冠町は北海道の南部、太平洋に面する日高地方のほぼ中央に位置し、総面積585.81平方キロメートル、総人口は令和2年度時点で5,309人と推移している。(令和2年度国勢調査より。)

新冠町の高齢化率は32.9%と全国平均の28.6%、全道平均32.1%(令和2年度国勢調査より。)を上回る結果となっている。また、本町は過疎地域であり、町全体が交通不便地域となっているため、自家用車での移動が困難な高齢者や学生に対し、公共交通による移動手段の維持・確保が必要不可欠である。

効率的で利便性の高い公共交通を目指すべく、平成22年3月に「新冠町地域公共交通総合計画」を策定した。当該計画に基づき、道南バス泉線が廃線されたことから、平成27年度より町が所有するバスを活用しながら、地域間幹線系統バス(道南バス株「日高沿岸線」)への接続を考慮した「新冠町コミュニティバス『メロディー号』」の運行を開始した。

今後は、利用者のニーズに配慮した運行を行うべく、適時適切な見直しを実施しながら、高齢者や学生などの移動手段として維持・確保を図る。

生活交通確保維持改善計画の目標

【目標】高齢者及び学生に配慮した利用しやすい運行体制の整備

1日平均利用者数10.9名程度の維持

【車両原価償却費等国庫補助金】※運行補助と同じ

令和5年度事業概要

【定時定路線】一律200円(小人、障がい者半額)

(1) 新和太陽古岸線(農協スタンド横→新和土井宅前→新冠温泉) ~ 2便/日(循環)月・火・木・土運行103.1km

(2) 美宇東川線(農協スタンド横→美宇早川宅前→新冠温泉) ~ 2便/日(循環)火・水・木・金運行074.0km

(3) 若園大富線(農協スタンド横→若園滑若橋前→新冠温泉) ~ 2便/日(循環)月・水・金・土運行059.7km

地域公共交通の現況

- (1) 道南バス「日高沿岸線」
- (2) JR北海道バス「特急とまも号」
- (3) スクールバス「町内7路線」
- (4) (有)新冠ハイヤー

協議会開催状況

- R2. 6.24 R3地域内フィーダー系統維持計画承認
- R2.11.20 自家用有償旅客運送者登録変更
R2地域内フィーダー系統維持計画変更
- R3. 1.29 R2地域内フィーダー系統維持計画事業評価
- R3. 6.28 R4地域内フィーダー系統維持計画承認
自家用有償旅客運送者登録変更
- R3.11. 4 自家用有償旅客運送者登録更新
- R3.12.24 自家用有償旅客運送者登録変更
- R4. 1.19 R3地域内フィーダー系統維持計画事業評価
- R4. 3.28 自家用有償旅客運送者登録変更
- R4. 6.27 R5地域内フィーダー系統維持計画承認
- R4.12.11 R4地域内フィーダー系統維持計画事業評価
- R5. 3.23 自家用有償旅客運送者登録変更
R5地域内フィーダー系統維持計画変更
- R5. 6.26 R6地域内フィーダー系統維持計画承認
- R6. 1.16 R5地域内フィーダー系統維持計画事業評価

令和5年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- (1) 他部署との情報共有～必要に応じて健康状態や生活状態等について確認し情報共有を図った。
- (2) 委託業者との連携～バス利用者の利用状況について確認し、情報共有を図るとともに安全運行のための調整を図った。
- (3) 時刻表の周知～町内全世帯に向けて配布を実施した。(希望者には個別時刻表を作成し配布した。)
- (4) 各種助成券の周知～各助成券の交付について全世帯向け周知文書を配布した。
- (5) 他の公共交通との接続～他の公共交通との接続について問合せがあった際に説明を実施した。

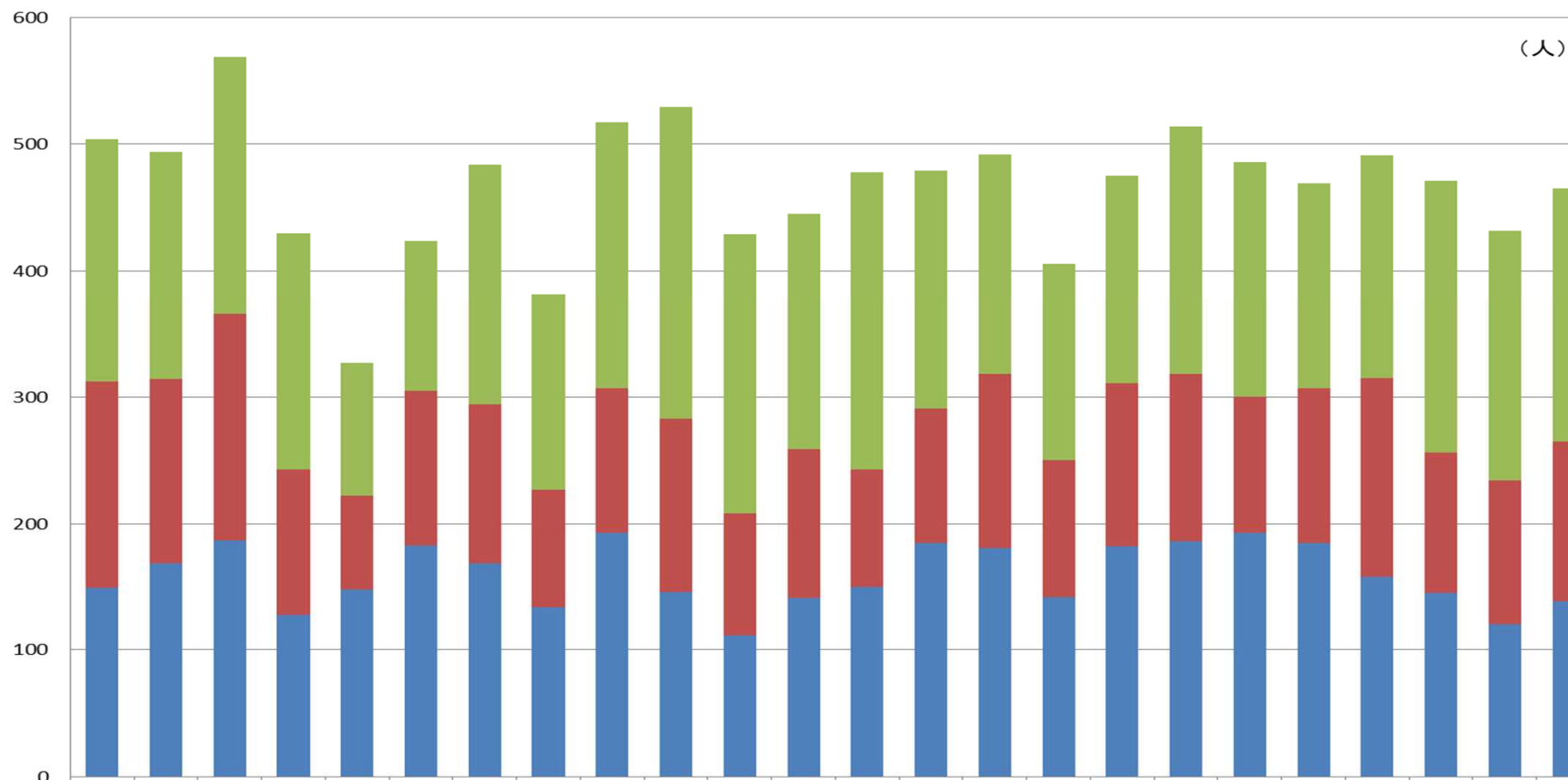
2) 運行系統

別紙路線図のとおり

(1)新和太陽古岸線
 (2)美宇東川線
 (3)若園大富線



3) 利用実績



	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
■ 若園大富線	192	180	203	187	105	119	190	155	210	246	221	186	235	188	174	156	164	196	186	162	176	215	198	200
■ 美宇東川線	163	145	179	116	74	122	125	94	114	137	97	118	93	106	137	108	129	132	107	122	157	111	114	127
■ 新和太陽古岸線	149	169	187	127	148	183	169	133	193	146	111	141	150	185	181	142	182	186	193	185	158	145	120	138

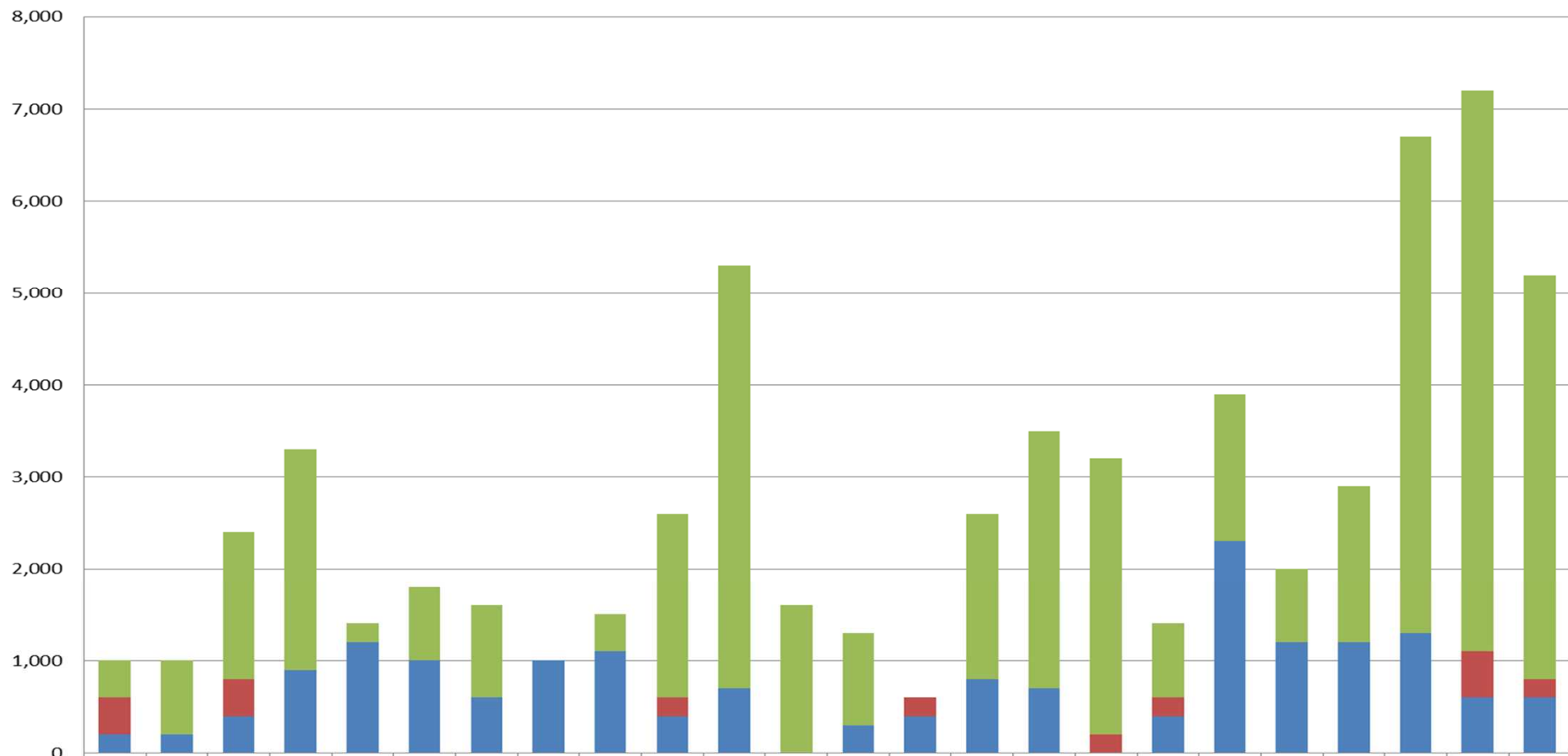
【R3.10～R4.9利用者合計

新和太陽古岸線 ～ 1,856人
 美宇東川線 ～ 1,484人
 若園大富線 ～ 2,194人
 合 計 ～ 5,534人

【R4.10～R5.9利用者合計

新和太陽古岸線 ～ 1,965人
 美宇東川線 ～ 1,443人
 若園大富線 ～ 2,250人
 合 計 ～ 5,658人

4) 収入実績



【R3.10～R4.9収入合計

新和太陽古岸線 ～ 7,700円
 美宇東川線 ～ 1,000円
 若園大富線 ～ 15,800円
 合 計 ～ 24,500円

【R4.10～R5.9収入合計

新和太陽古岸線 ～ 9,800円
 美宇東川線 ～ 1,300円
 若園大富線 ～ 29,400円
 合 計 ～ 40,500円

5) 事業実施の適切性

計画どおり本事業は適正に実施された。

6) 目標・効果達成状況

○1日平均利用者数10.9名に対し、9.1名(5,658名/310日/車両2台)となった。

計画を下回った要因として、当該バスを利用していた町民が転居や転出、死亡されたことにより、利用者数が減少したことにあると思われる。

○山間地域に居住する町民において一定の利用があり、学生の通学利用や高齢者の集会への参加や買い物、医療機関への受診など外出機会の創出につながっている。

【車両減価償却費等国庫補助金】

目標は運行補助と同じ。

7) 事業の今後の改善点

○目標の1日平均利用者数10.9名には至らなかったものの、一定の利用者は維持している。

○当町は過疎地域のため、町全体が交通不便地域となっており、自家用車の運転が困難な高齢者や学生に対し、公共交通による移動手段を確保するとともに、維持していくことは必要不可欠である。

○今後は、利用者のニーズに配慮した運行とするべく、適時適切な見直しを行い、必要最低限の経費でより効果の大きな運行体制の構築を実現する。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

(令和6年度分と併せて評価)